

令和4年度
(2022年度)

学校関係者評価報告書

令和4年(2022年)4月1日から
令和5年(2023年)3月31日まで

令和5年(2023年)9月28日

学校法人吉田学園
専門学校北海道自動車整備大学校

■令和4年度 学校関係者評価について

学校関係者評価は、卒業生、保護者、地域住民、提携企業等の役職員等の学校関係者を選任し、専門学校北海道自動車整備大学校が実施した自己点検・評価結果に関する評価を行う。

また、学校関係者から、現状における課題について助言を得ることで、必要な改善に努め、学校運営や教育実践力等の向上を図る。

1. 実施日時

令和5年9月28日(木) 16:30～17:10

2. 実施場所

専門学校北海道自動車整備大学校 2号館 203教室

3. 実施方法

(1) 実施組織: 学校関係者評価委員会

○評価委員:

三野 雅章	一般社団法人札幌地方自動車整備振興会 常務理事
加藤 敦哉	ダイハツ北海道販売株式会社 サービス部品部 部長
加藤 寛史	北海道スバル株式会社 総務部 人事教育課 課長
漆館 礎樹	北海道いすゞ自動車株式会社 総務部 次長
木田 政彦	株式会社エステイビジネスアシスト 人材開発部 次長

○学校関係者:

大山 節夫	校長
勝長 裕二	副校長
今野 和彦	一級自動車整備学科 学科長・二級自動車整備学科 学科長
前田 一也	一級自動車整備学科 副学科長・二級自動車整備学科 副学科長
小笠原 悟	主任
伊藤 聖	主任
千葉 一俊	学校事務部 部長

(2) 評価基準: 文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠する

(3) 評価方法: 令和4年度学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

4. 評価項目

次の11項目について実施

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価した。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 令和3年度学校自己点検・評価報告書を基に評価を頂き、評価4未満のものを中心に、各項目の課題、対策について討議を行った。なお、委員会で提出された意見や質疑、提案事項については次の通りである。

① 項目4 学修成果について

資格取得率の向上について

- ・国家試験につながる問題を実習の中でも実施し、理解度を深める授業展開を昨年度に引き続き実施。
- ・今年度は昨年度に比べ試験対策期間を長くとり、合格率の向上に取り組む。

退学率の低減について

- ・昨年に引き続き、学生の修学、生活状況の把握と課題の早期対応に向けた取り組みを強化する。
- ・目的意識の低い学生が増えてきているのではないかと感じる。ただし、一級課程の学生については目的意識の高い学生が多いと感じる。退学率の低さにも表れているのではないかと感じる。
- ・専門学校の抱える問題として募集に関し宣伝ばかりになり学校の中身がうまく伝えられていない部分がある、在校生の様子から学校の現状を伝え、退学者の低減と合わせて考えていきたい。

② 項目7 学生の受入れ募集について

学生の募集活動について

- ・高校生の募集活動はもちろんだが、今後は中学生や小学生へ業界のアピールが必要と思われ、少しでもクルマに興味を持ってもらえるようなイベント等も実施していきたい。
- ・二級課程の定員未達について、過去三級から二級への移り変わりもあった。今後は一級中心になっていくと思われる。一級中心で二級は経済的事情等に合わせ進めていくのが良いのではないかと感じる。
- ・業界の認知度を高めるため、オープンキャンパスにおける他校との連携、例えば科技専等との合同開催等はできないのか。

6. その他

(1) 以下、令和4年度 学校自己点検・評価の要約である。詳しくは資料「令和4年度 学校自己点検・評価報告書」を併せてご覧いただきたい。

項目1 教育理念

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目3 教育活動

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目4 学修成果

- ・項目評価 3.6
- ・二級自動車整備士試験はガンリン 96.4%、ジーゼルは 97.6%と目標設定値に近い取得率を達成、また一級自動車整備士試験に関しては 87.5%とこちらも全国平均の合格率 53.0%を超えているが、目標設定値の達成を目指し、更なる問題傾向の分析、対策が必要。
- ・学生の離脱 6.69%と目標の 5%を超える結果となった。引続き学生への指導体制の構築や授業等理解不足者へのフォロー等を進めていく必要がある。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目6 教育環境

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 3.7
- ・二級自動車整備学科の定員未達について、原因分析が必要。
- ・広報企画部との協力体制・情報共有を密にし、「オープンキャンパス企画や内容の工夫」、「ファーストアプローチ方法の強化・工夫」を図り、全職員による学生募集協力体制で取り組んだが、一級自動車整備学科 40 名、二級自動車整備学科 46 名の結果であった。

項目8 財務

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった

項目11 国際交流

- ・項目評価 —
- ・留学生在籍なし

以上